

2019 年度 センター試験 地学基礎（本試験） 分析

全体概況

試験時間 2 科目で 60 分

大問数・解答数	大問数：3 題	解答数：15 問
難易度の変化（対昨年）	○ 難化 ○ やや難化	● 変化なし ○ やや易化 ○ 易化
問題の分量（対昨年）	○ 増加	● 変化なし ○ 減少
出題分野の変化	○ あり	● なし
出題形式の変化	○ あり	● なし
新傾向の問題	○ あり	● なし

総評

全体的に教科書に沿った標準レベルの問題である。大問数・解答数ともに変化はなかった。内容的にも昨年同様易しく、図も教科書に掲載されているものがほとんどで取り組みやすかったと思われる。地学基礎に費やす時間を 30 分と仮定すると時間内で十分に対応できる分量であり、難易度変化はなしとした。日ごろから科学的な事象に対して図やグラフを基に考えている生徒は高得点が狙えたであろう。

大問別分析

大問	出題分野・テーマ	配点	コメント
第 1 問	地球 A-地球の形状と活動 B-地球の歴史 C-火山と火成岩	30 点	「地球」の各分野に関し、偏りなく出題されている。昨年度と比較して図の数が増加しており、具体化されている問題が多く、受験生は取り組み易かったであろう。配点が若干高くなり、全体に対する配点ウェイトが増加した。
第 2 問	大気と海洋	10 点	天気図に関する問題。等圧線や衛星写真の読み取り、気象現象の基礎知識を問う問題がバランス良く出題されている。日ごろから教科書の資料を確認する習慣がある生徒は問題なく正解できたであろう。
第 3 問	恒星の誕生と宇宙の進化	10 点	例年同様、会話を通じて知識を問う問題である。恒星の誕生や宇宙の進化に関する基本的な知識があれば容易に正解できたと思われる。受験生は取り組み易かったであろう。